第28回若潮国体（千葉）
高校 篭球に四君が代表選手に

平松選手

和澄(孝)選手

和澄(久)選手

石井選手

九月二十八日、県教育委員会は、十月十四日から五日間千葉を中心に開かれる第二十八回国民体育大会の出場選手を発表した。

この中で本村の高校生四君和澄久雄（新津工）、和澄孝男（新潟高）、平松裕造（新潟商）、石井登（新津高）が高校バスケットボールの代表選手に選抜された。

本村で今まで国体選手として出場したものは、剣道、柔道、弓道、軟式野球等で、今回のように同じ種目で四選手が出場することは、はじめてのことである。

新潟県選手勢の国体成績は第十九回新潟国体において、開催県の面目で初の天皇、皇后杯獲得の大偉業をなし得たが、その後低迷を続け、さっぱり。

「若潮国体」の名称をもつこの国体で本村選手の活躍と新潟県選手の奮起を期待したいものである。

これより先、第二十八回国体バスケットボール北信越予選が、九月二日新潟市体育館で行われた。

本村の四選手は、高校新潟選抜の主力選手として出場し大活躍。

決勝で全福井と対戦し、前半は、苦戦したが、後半は、圧倒的な強さをもって82対56で勝ち、千葉国体の出場権を手にしたもの。

小杉、藤山、駒込の皆さん
ゆうあい号の献血にご協力を

献血はお互いに助けあう心の尊い行為です。健康のときには献血して他人を助け、自分がケガや病気のときは、皆さんの献血で助けてもらう。これが献血の精神です。

このあたたかい相互扶助の精神を村内くまなく伸ばし、献血によって一人でも多くの生命を助けなければなりません。

村では、計画的に村内の地域を順回し、先回は本津二本木地区を訪問したところ、多勢の方々からあたたかいご協力をいただきました。今回は小杉、藤山、駒込地区へ献血車「ゆうあい号」がお邪魔することになりました。健康のご方の美しい愛の献血をご期待しております。

なお、献血された方には献血手帳を差上げます。万一本人・家族、友人等で輸血の生じた場合は、献血手帳を提示すると、何型の血液でも献血量の血液は優先的に確保提供されます。これは全国どこの病院でも通用します。

ゆうあい号訪問日
10月25日（木）

◎小杉会場
午前9.30分～午後2.00分
小杉小学校

◎藤山駒込会場
午後2.30分～3.00分
藤駒出張所

※満16才～65才まで健康の方はどなたでも献血できます。献血後は普通の作業をしても差支えありません。また入浴晩酌も差支えありません。

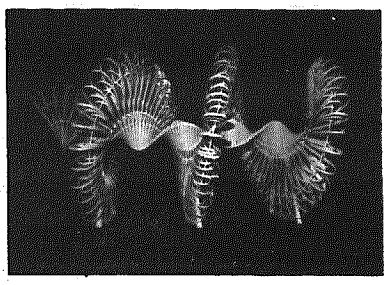
村の農業に強い関心
中国経済視察団

訪日中の中国経済貿易友好代表団のうち、崔群副団長等一行七名が、さる十六日、農業の実態をみるため本村を訪れた。

一行はまず二本木地区で、村長および農協組合長等地元民の歓迎をうけ、大型防除機による梨の防除作業を見学した。一行は大きな梨を手にし色の鮮やかさに感心をしていた。続いて同地区内の養豚舎も見学し、さらに小杉上地区のライスセンターを見学機械化農業に強い関心を示していた。

横越村公民館での歓迎会に臨み、中食をとりながら、和やかな懇談をした崔群団長は直接働く現場で農民との接触が大変ためになった旨を語っていた。

日展竹芸家　馬場松堂氏（小杉出身）
竹芸美術品を寄贈


竹芸品「わだつみの詩」

小杉出身の日展竹芸家馬場松堂氏（本名助次）は、このほど現代工芸展の入選作品を横越村公民館に寄贈された。

松堂氏は日本竹芸界の中堅作家として活躍、現在、川崎市高津区向ケ丘に馬場竹芸研究所をもち伝統工芸に専念するかたわら現代工芸の研究も行っている。

松堂氏は、大正十四年、小杉馬場文吾氏の二男として生まれ、昭和二十年海軍航空隊で、左足を受傷して復員したが不自由な体のため、農業を継ぐことができず竹芸への道に進んだ。（兄助市氏は、S20年、インドシナで戦死）

昭和二十二年、北方博物館で開かれていた竹芸研究所に入所。先代北方博物館長から二十四年に「松堂」の号をいただく。

松堂氏は、竹芸への道を本格的に進むため、二十七年に上京し、日展竹芸家林尚月斎師の門に入った。

三十年に独立、四十四年に馬場竹芸研究所を設立した。

松堂氏の日展初出品は、昭和三十六年で初入選、以来八回の入選をしている。

しかし、ここ四年ほど竹芸研究所の設立もあって作品の創作にとり組めず、出品していないという。

新潟県展にも十余回も入選、そのほか数多くの竹芸展の入選歴をもっている。

松堂氏の作品は、海軍航空隊の経験もあってか「海」を素材としたものが多くこのたび寄贈された作品も「わだつみの詩」と題され海にちなんだものである。

（ふ）は松堂氏の作品は、一階ロビーに展示しております。）

人権相談所

日時　10月16日
午前10時～午後3時
場所　亀田町円満寺

次のことがらでお困りの方は、気軽にお越しください。

老人や子供が虐待されている。騒音、悪臭等で生活がおかされる。おどしや暴力で義務のないことを強いられている。地主や家主から一方的に追いたてられている。他の人と差別して扱われている等の人権問題。

交通事故による損害賠償、離婚、土地、建物等の紛争が起き、資力が乏しく訴訟で解決を図れない場合等の法律扶助問題。相談ごとは他にもあったりは絶対しません。

費用は無料です。

一等に仲村氏等入賞
第5回「廿世紀」共進会

秋の味覚「廿世紀梨」の共進会が、さる九月十三日から十六日までの四日間、新潟市の小林デパート七階で開催されました。

新潟地区梨振興協議会では、毎年廿世紀の宣伝と、生産技術の向上を図るため、産地（横越、亀田、両川）輪番制で共進会をもち、今回は第五回目にあたります。

今年は日照がよくまた台風等もなく、例年にない立派なものが二百点ばかり出品され審査員も実に立派な果実であると激賞。訪れた多くの人たちもそのすばらしさに感嘆させられ、即売会では飛ぶように売れてしまう有様でした。

なお、村からも多数の出品があり、仲村秀文氏と仲村忠雄氏が一等に入賞したほか多勢の方が入賞しました。

入賞者次のとおり

特賞	吉田政一郎	亀田	
一等1席	吉田キクイ	〃	
〃2	仲村　秀文	横越	
〃3	佐藤　与男	両川	
〃4	仲村　忠雄	横越	
二等1席	片山　謙一	亀田	
〃2	熊谷　辰一	〃	
〃3	山田　宏一	横越	
〃4	阿部　末吉	〃	
〃5	三沢　アツ	〃	
〃6	清水　清吉	亀田	
〃7	堀川幸一郎	両川	
〃8	渋谷　剛	横越	
〃9	横山　ヒデ	〃	
〃10	塚原　敏	〃	
〃11	岩崎　啓一	両川	
〃12	佐藤　浩	〃	
〃13	吉田　正己	亀田	
〃14	熊谷　繁	〃	
〃15	田中　耕衛	〃	

48・10・1から
軽自動車にも車検が必要です

道路運送車両法が改正され昭和四十八年十月一日から軽自動車にも検査が必要となりました。現在ナンバーをつけている軽自動車の検査をうける期限は、軽自動車届出済証の届出年月日より次の表のように決められています。

期限内に検査をうけないと使用できなくなりますので、なるべく早めにうけてください。

なお、表は途中から省略してありますから、その後の検査期限や、検査をうける際の手続等は、次の問い合せ先にお聞きください。

◎問い合せ先
新潟市大形本町一一七番の二
☎（二三）の5845
軽自動車検査協会
新潟主管事務所

検査期限

届出年月日	検査期限
昭和41年12月31日以前	昭和48年10月
昭和42年 1月 1日～昭和42年12月31日	昭和48年11月
昭和43年 1月 1日～昭和43年 7月31日	昭和48年12月
昭和43年 8月 1日～昭和43年12月31日	昭和49年 1月
昭和44年 1月 1日～昭和44年 4月30日	昭和49年 2月
昭和44年 5月 1日～昭和44年 8月31日	昭和49年 3月
昭和44年 9月 1日～昭和44年12月31日	昭和49年 4月
昭和45年 1月 1日～昭和45年 3月31日	昭和49年 5月
昭和45年 4月 1日～昭和45年 6月30日	昭和49年 6月
昭和45年 7月 1日～昭和45年 9月30日	昭和49年 7月
昭和45年10月 1日～昭和45年12月31日	昭和49年 8月
昭和46年 1月 1日～昭和46年 3月31日	昭和49年 9月
昭和46年 4月 1日～昭和46年 6月30日	昭和49年10月
昭和46年 7月 1日～昭和46年 9月30日	昭和49年11月
昭和46年10月 1日～昭和46年11月30日	昭和49年12月

在宅重症心身障害者に介護見舞金支給

県では在宅の重症心身障害者を抱えている保護者に対し、日頃のご苦労に報いるため見舞金をあげることになりました。

☆対象者
市（町村）内に住んでいる重症心身障害者の保護者（ただし施設に入所している障害者の保護者は除かれます。）

☆金額　一万円

☆支給の時期
十二月中旬

☆届出の時期
十月末日まで役場住民課窓口へ。

◎なお重症心身障害者とは、重度の精神薄弱（知能指数三十五以下のもの）と重度のし体不自由（身体障害者手帳に上し、下し、上下し体、体幹、し体不自由等名称で一級又は二級と表示されているもの）とを合併している障害者のことをいいます。

くわしくは、社会福祉事務所、又は役場住民課社会係にご相談ください。